



新進気鋭の現代アート作家、鎌谷徹太郎

伝統あるチェルシーフラワーショーで「禅」の精神を展示

— やがて朽ち果てる 8万匹のハエたちの芸術 —

かつて、エリザベス女王II世から「MOSS MAN(苔男)」と呼ばれ、チェルシーフラワーショーでは8度の金賞を受賞し、ショーにおいて欠かせない存在である石原博士は、2023年、バイオフィリックをテーマに取り組みます。バイオフィリックガーデンは、日本を代表する世界的建築家の隈研吾氏による茶室があり、その茶室を飾るのは、日本とボストンを中心に活躍する現代アート作家の鎌谷徹太郎です。



RHS Chelsea Flower Show 2023 'ZEN NO NIWA'

80,000匹のハエが織りなす新しい自然観と美学

鎌谷の作品を見ると、ガラス面のような漆黒の背景の奥に、無数の光を放ち蠢くものがあるのがわかります。その中には8万匹のハエが閉じ込められているのです。

鎌谷は、自然との共生とは、快適な自然をつくることではなく、「自然と人間」「生物と無生物」「生と死」「美と醜」など、人が勝手に設定した二項対立の枠組みが、一枚の絵の中で無意味になるくらいに表現されると、人間と自然が融合して新しい「美」を生み出すと考えます。新しい「美」が生まれるとき、人は自然と向き合い、初めて自然との一体感を意識することができる。それが、新しい自然観と新しい美意識の結合であると言うのです。鎌谷の仕事はこれだけでは終わりません。ハエは樹脂で固められており、やがて画面は内部から割れ、崩れていくことになるでしょう。鎌谷はこの過程をNFTアートとして発表するのです。この作品は、時間とともに朽ちていくあらゆるものを肯定的に捉える日本の「わびさび」の精神を、NFT技術によって具体的な形で表現しようとするもので、さらに「リアルとデジタル」「AIでは表現できない時間の流れ」を表現しています。

Chelsea Flower Show : 23-27 May 2023

<https://www.rhs.org.uk/shows-events/rhs-chelsea-flower-show-2023>

鎌谷徹太郎 現地滞在日程 : 22, 23 & 27 May 2023

*インタビューなどにもご対応可能です



鎌谷徹太郎



ハプスブルク家 (1273~) がヨゼッペ・アルチンボルドやアルブレヒト・デューラーなどの巨匠にパトロンを与えたように、鎌谷徹太郎もアメリカでの活動に関して、ゲザ・フォン・ハプスブルク大公から応援を受けています。ゲザ大公は、クリスティーズ・オークションのヨーロッパ会長を20年以上務めた現代美術のプロフェッショナルです。

大公の推薦により、世界有数のコレクターである PELLAS 4 世が運営するボストンの PELLAS GALLERY と契約 (2021 年-) しています。彼の作品はすべて世界中の個人コレクターや企業が所有しており、常に 40 人以上のウェイティングリストがあり、3 年待ちの状態です。

<https://www.tetsutarokamatani.com/>

